



「土砂災害」は、局地的豪雨により、県下でも発生しています。昭和34年の伊勢湾台風では、木之本で死者10名。平成25年の台風18号では、栗東市で1名。また、平成26年、広島県では、74名の方が亡くなられています。湖北にあつても、緊急性の高い箇所から、砂防ダム建設をすすめています。
(栗東市の砂防ダムを視察)



「地域医療構想」…将来の病床数を定める構想です。この秋から、2次医療圏(滋賀県は7つの医療圏に分かれています。長浜市・米原市で1つの医療圏)単位に決定していきます。湖北の課題は、高齢化により増加する慢性期における医療の充実です。どこに住んでも、同じ医療が受けられるよう努めます。
(市立湖北病院を「自己完結型」の病院に)



「地域公共交通」…鉄道やバスなどです。人口減少が進む地域にあって、利用者が減り続け、厳しい経営に。道路が整備され、自家用車の利用が進んだことも一因。高齢者の通院・買い物など、生活支援としての地域公共交通のあり方をさぐりました。
(総合交通・防災対策特別委員会・委員長)



「国立環境研究所」は、温暖化などの地球環境、資源循環・廃棄物、環境リスク・健康などの研究を進めています。このうち、地域環境、生物・生態系環境の部門が、この4月、本県に琵琶湖分室として開設されました。アユなど湖魚の漁獲量の復活をめざし、本腰を入れています。
(茨城県の「国立環境研究所」を視察)

「今に責任！未来に責任！」

夢あるあしたへ

うんちは、食べ物のカスでしょうか。実は、数パーセント以下です。そのほとんどは、「自分自身」です。日々はがれ落ちていく内なる皮膚、消化管の上皮細胞の残骸なのです。つまり、うんちは、昨日までの私の一部だったものの物質レベルでは、昨日の私ではありません。1年もすれば、私の身体は、すっかり別人となります。

私が敬愛する(生物学者・福岡伸一氏の文章より)



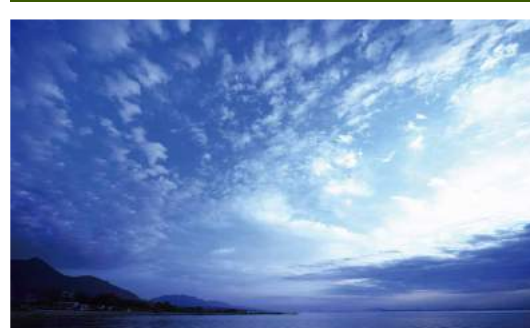
「もう6年。でも、まだ6年」。これは、福島県民の声です。政府は今春、一部を除き、原発事故の避難指示の解除を決定。約8万人のうち約7割が対象。今後、廃炉作業が進む中で「また、事故が起きないか」、避難者の「故郷に帰る不安」は、まだまだ続きます。
(JR常磐線の全線開通は未だ/2012年の富岡駅)



「働き方改革」は、人口減少で、労働人口が減少する中、安心して子育てできる環境づくりも目標。本県の「生涯未婚率」は、男性18.25%(全国は23.37%)、女性9.21%(全国は14.06%)。「結婚資金が…」と、結婚をためらう非正規労働の解消とともに、出会いの機会を少なくする長時間労働の是正をめざします。
(滋賀県立マサースジョブステーションを視察)



「2017年に中学校に入学した子どもたちの半分は、大学卒業時に、今は存在していない職業に就くだろう」と、ある経済学者。AI(人工知能)が社会を急激に変える時代を迎えます。時代に対応する力をつけるため「学ぶ力」の向上をはかっていきます。
(新校「長浜北高校」。平成30年4月、新校舎へ)



「知らなければ、存在しないのといっしょ…」ある中小企業の社長の言葉です。高校生の県内就職率は伸びています。しかし、学生の大企業志向や中小企業敬遠は、これからの本県の産業振興や「若者の流出」に大きく影響します。県内の中小企業との相乗効果のマッチングをはかっていきます。
(滋賀県立高等技術専門学校を視察)



「小谷城スマートインターチェンジ」が、この春、開通しました。県内では3か所目。建設総額33億円。1日あたり約2000台の利用を見込んでいます。周辺地域における「6次産業化(農業生産者が加工から販売まで手がける生産業)」に大きな期待が寄せられています。
(3/25小谷城スマートIC開通式に臨席)



「木質バイオマス発電」は、新しいエネルギー社会実現への挑戦です。間伐材や樹皮・枝など、未利用木材を活かし、林業再生や雇用創出に挑みます。今年度は、この湖北(びわ工業団地隣)で、事業化の可能性調査を始めます。原発に依存しない社会に向け、性根を入れて取り組みます。
(岡山東真庭市の木質バイオマス発電所を視察)



| 滋 | 賀 | 県 | 議 | 会 | 議 | 員 | 大橋みちのぶ

PROFILE

1957年(昭和32年)9月13日 / 長浜市高月町雨森生まれ(59歳)

経歴 富永小、高月中、虎姫卒業、東京造形大学美術学科卒業
大津市立田上中、長浜市立北中、甲良町立甲良中、
甲良町教育委員会、長浜市立木之本中(平成23年退職)

現在 滋賀県議会議員2期目
「チームしが県議団」政策調査会長

所属 総務・政策・企業常任委員会
地方創生・しがブランド推進対策特別委員会

ホームページ(ブログ・フェイスブック) ぜひ、ご覧ください。

大橋みちのぶ 検索

<http://m-ohashi.com>